

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に規定する定額法を採用しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	309,213,840	0	0	309,213,840
建物	186,580,534		11,395,086	175,185,448
建物附属設備	7,838,566	857,872	1,758,759	6,937,679
				0
小 計	503,632,940	857,872	13,153,845	491,336,967
特定資産				
定期預金	103,891,910	0	0	103,891,910
預敷金引当資産	0	14	0	14
預保証金引当資産	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	108,891,910	14	0	108,891,924
合 計	612,524,850	857,886	13,153,845	600,228,891

(注) 建物及び建物附属設備の当期減少額は、当期分減価償却費である。

(注)

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	486,969,769	311,784,321	175,185,448
建物付属設備	158,136,535	151,198,856	6,937,679
什器備品	10,932,756	10,913,838	18,918
リース資産	11,574,432	7,367,103	4,207,329
ソフトウェア	1,800,750	1,800,750	0
合 計	669,414,242	483,064,868	186,349,374

4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	5,142,139	13,997,829
その他資産	10,000	10,014
合 計	5,152,139	14,007,843
未払金	0	0
リース未払金	5,688,405	4,218,129
預り金	5,105	22,505
仮受金	0	0
合 計	5,693,510	4,240,634
差引： 次期繰越収支差額	-541,371	9,767,209

基本財産

期首貸借対照表との照合 差異	0
期末貸借対照表との照合 差異	0

特定資産

期首貸借対照表との照合 差異	0
期末貸借対照表との照合 差異	0

期末簿価 貸借対照表との照合	
建物 差異	0
附属設備 差異	0
什器備品 差異	0
什器備品 差異	0
ソフトウェア 差異	0

次期繰越収支差額チェック

収支計算書との照合

前期末差異	2,835,775
今期末差異	2,835,775